

# 自然教育園のアブラムシ類

松 本 嘉 幸 \*

Aphids of the Institute for Nature Study, National Science Museum, Tokyo, Japan

Yoshiyuki Matsumoto\*

## は じ め に

自然教育園は都心にありながら緑地帯として大切に保護され約1000種の植物が見られる(自然教育園動植物目録:1984)。アブラムシ相については、今まで自然教育園動植物目録(1984)でゴンズイフクレアブラムシ(目録ではゴンズイノアブラムと表記)1種のみが知られているに過ぎなかった。今回、著者は1998年から国立科学博物館附属自然教育園が実施した「自然生態系特別調査」の動物群集に関する調査部門の調査員として、アブラムシを調べることができたので、その結果を報告する。調査でお世話になった自然教育園の久居宣夫主任研究官および矢野亮主任研究官、文献についてお世話になった宇都宮大学の高橋滋講師並びに多くの寄主植物の同定を快くお引き受けいただいた千葉県立中央博物館の大野啓一博士に心よりお礼申し上げる。

## 1. 調査方法

調査は自然教育園の武蔵野植物教材園と水生植物教材園を中心とした緑地帯で1998年7月から2000年4月までの2年間に合計9回実施した。この間の調査年月日は次のとおりである。

1998年: 7月31日, 9月9日, 10月28日, 11月29日

1999年: 4月21日, 5月12日, 9月5日

2000年: 4月9日, 4月19日

現地では、毎回あらかじめ設定した調査ルートを歩きながら植物に寄生しているアブラムシのコロニーを探した。発見したコロニーを寄主植物ごと切り取ってビニール袋に入れて持ち帰り、80%エチルアルコール液に浸して保存した。その後、個体ごとに10%苛性カリ液で体の内容物を溶出してから水洗、脱水などの処理をし、カナダバルサムで封入したプレパラート標本を同定に供した。アブラムシの同定は Blackman & Eastop (1994, 2000), Miyazaki (1971), 森津 (1983), Sorin (1970), 宗林 (1975a, b, c, 1976a, b, 1977a, b, c, d, 1978a, b), Higuchi (1974), 平良 (1982) によった。本研究に用いた標本は国立科学博物館附属自然教育園に所蔵されるが、一部は著者が保管している。

---

\* 芝浦工業大学柏高等学校, Shibaura Institute of Technology Kashiwa High School

## 2. 調査結果

以下の目録にはアブラムシの学名, 和名, 採集年月日, アブラムシが寄生していた植物の種名・寄生部位, ならびに標本番号を示した。アブラムシの生活型 (morph) はとくに記していない限り胎生雌虫である。アブラムシの学名は原則として Remaudiere & Remaudiere (1997) の説に従い, 植物の学名および和名は宮脇ほか (1994) に従った。

## 3. 自然教育園産アブラムシ目録

### Aphididae アブラムシ科

#### Lachninae オオアブラムシ亜科

1. *Eulachnus thunbergii* (Wilson) マツノホソオオアブラムシ  
1998. 11. 29, クロマツ新葉, 有性世代を含む, [no.98x42]
2. *Stomaphis yanonis* Takahashi ヤノクチナガオオアブラムシ  
1998. 7. 31, エノキー樹皮, 有翅胎生雄虫を含む, [no.98747]; 1998. 9. 9, エノキー樹皮, [no.98901]; 1998. 11. 29, エノキー樹皮, [no.98x57]

### Aphidinae アブラムシ亜科

#### Aphidini アブラムシ族

3. *Aleurosiphon smilacifoliae* (Takahashi) サルトリイバラアブラムシ  
1998. 11. 29, サルトリイバラ葉裏, [no.98x41]
4. *Aphis* sp. 1 ムラサキシキブアブラムシ (仮称)  
1998. 10. 28, ムラサキシキブ葉裏, [no.98050]; 1998. 11. 29, ムラサキシキブ葉裏・果梗, 卵生雌虫を含む, [no.98x53]; 1999. 4. 21, ムラサキシキブ葉裏, [no.99418]
5. *Hyalopterus pruni* (Geoffroy) モモコフキアブラムシ  
1999. 5. 12, ヨシー葉身, [no.99509]; 1999. 9. 5, ヨシー葉身, [no.99912]
6. *Melanaphis bambusae* (Fullaway) タケノアブラムシ  
1998. 10. 28, アズマネザザ葉身, [no.98040]; 1999. 4. 21, カマツカー葉裏, 幹母を含む [no.99413]; 1999. 5. 12, アズマネザザ葉身, [no.99510]
7. *Melanaphis formosana* (Takahashi) タイワンススキアブラムシ  
1998. 9. 9, ススキー葉身, [no.98910]
8. *Melanaphis jamatonica* (Sorin) ヤマトススキアブラムシ  
1998. 7. 31, ススキー葉舌, [no.98740]
9. *Toxoptera citricida* (Kirkaldy) ミカンクロアブラムシ  
1999. 5. 12, エゴノキー葉裏, [no.99512]
10. *Toxoptera odinae* (van der Goot) ハゼアブラムシ  
1998. 9. 9, スルデー翼の裏, [no.98914]; 1998. 10. 28, スルデー葉裏・翼の裏, 有性世代を含む, [no.98045]; 1999. 9. 5, スルデー翼の裏, [no.99917]

## Macrosiphini ヒゲナガアブラムシ族

11. *Aulacorthum magnoliae* (Essig et Kuwana) ニワトコヒゲナガアブラムシ  
1998. 11. 29, ニワトコ葉裏, [no.98x44]; 2000. 4. 9, ニワトコ葉裏, [no.00404]
12. *Capitophorus cirsiiphagus* Takahashi アザミクギケアブラムシ  
1999. 4. 21, アザミ属の1種-葉裏, [no.99404(1)]; 1999. 5. 12, アザミ属の1種-葉裏,  
[no.99518]
13. *Cavariella salicicola* (Matsumura) ヤナギフタオアブラムシ  
1999. 4. 21, ヤナギ属の1種-葉裏, [no.99416]
14. *Cavariella japonica* (Essig et Kuwana) シラネセンキュウフタオアブラムシ  
1999. 5. 12, ノダケ葉柄基部や葉裏, [no.99517(1)]
15. *Hydronaphis impatiens* Shinji ツリフネソウアブラムシ  
1998. 10. 28, ツリフネソウ根, 有翅雄虫を含む, [no.98037]
16. *Impatientinum impatiens* (Shinji) ホウセンカヒゲナガアブラムシ  
1998. 10. 28, ツリフネソウ葉裏や花梗, [no.98038]; 1998. 11. 29, ツリフネソウ葉裏や花  
梗, 有翅雄虫を含む, [no.98x43]; 1999. 4. 21, サルトリイバラ葉裏, [no.99415]; 1999. 5.  
12, サルトリイバラ葉裏, [no.99511]; 2000. 4. 19, サルトリイバラ葉裏, [no.00409]
17. *Indomegoura nigrotibiae* (Tao) ミツバウツギフクレアブラムシ  
1998. 11. 29, ゴンズイー小枝, 卵生雌虫, [no.98x58]; 1999. 4. 21, ゴンズイー小枝, [no.99412];  
1999. 5. 12, ミツバウツギー葉裏, [no.99506]; 1999. 5. 12, ゴンズイー小枝, [no.99508];  
2000. 4. 19, ミツバウツギー葉裏, [no.00412]
18. *Myzus fataunae* Shinji クワクサコブアブラムシ  
1998. 10. 28, ミズ-節間部, [no.98051]; 1998. 11. 29, ミズ-茎や葉裏, 雄虫を含む,  
[no.98x50]
19. *Myzus siegesbeckicola* Strand メナモミコブアブラムシ (新称)  
1998. 10. 28, コメナモミ花梗, [no.98044]
20. *Rhopalosiphoninus hydrangeae* (Matsumura) サビタトックリアブラムシ  
1999. 4. 21, ウツギー葉裏, [no.99414]
21. *Semiaphis heraclei* (Takahashi) ハナウドチビクダアブラムシ  
1998. 9. 9, ノダケ花柄, [no.98918]; 1998. 11. 29, ノダケ花柄, 雄虫を含む, [no.98x47];  
1999. 5. 12, ノダケ葉裏, [no.99513]; 1999. 5. 12, ノダケ葉柄基部や葉裏, [no.99517(2)]
22. *Sinomegoura citricola* (van der Goot) クスオナガアブラムシ  
2000. 4. 19, クスノキ新梢, [no.00406]
23. *Sitobion akebiae* (Shinji) ムギヒゲナガアブラムシ  
1999. 4. 21, アケビー蔓, [no.99401]
24. *Sitobion ibarae* (Matsumura) イバラヒゲナガアブラムシ  
1998. 9. 9, ノイバラ新梢, [no.98912]; 2000. 4. 9, ノイバラ新梢, [no.00402]; 1999. 4. 21,  
ノイバラ新梢, [no.99409]; 2000. 4. 19, バラ属の1種-新梢, [no.00410(1)]
25. *Sitobion kamtshaticum* (Mordvilko) アシボソセツヒゲナガアブラムシ (新称)

1998. 11. 29, ノイバラ－葉裏, 卵生雌虫を含む, [no.98x54]; 1999. 5. 12, ノイバラ－新梢, [no.99515]; 1999. 4. 21, ノイバラ－新梢, [no.99409]; 2000. 4. 19, バラ属の1種－新梢, 幹母?, [no.00410(2)]; 2000.4.19, ノイバラ－新梢, [no.00413]
26. *Sitobion yasumatsui* Moritsu アブラススキヒゲナガアブラムシ  
1998. 10. 28, オオアブラススキー花穂, [no.98043]
27. *Trichosiphonaphis lonicerae* (Uye) スイカズラヒゲナガアブラムシ  
1999. 4. 21, スイカズラー蔓, [no.99419]
28. *Trichosiphonaphis (Xenomyzus) ishimikawae* (Shinji) イシミカワイボアブラムシ  
1998. 7. 31, ママコノシリヌグイ－節間や花柄, [no.98739]; 1998. 9. 9, ママコノシリヌグイ－節間, [no.98911]
29. *Uroleucon formosanum* (Takahashi) タイワンヒゲナガアブラムシ  
1998. 10. 28, アキノノゲシー茎, [no.98041]
30. *Uroleucon fuchuense* (Shinji) シラヤマギクヒゲナガアブラムシ  
1998. 7. 31, シラヤマギク－茎の先端, [no.98741]
31. *Uroleucon (Uromelan) cephalonopli* (Takahashi) アザミクロヒゲナガアブラムシ  
1998. 7. 31, アザミ属の1種－茎, [no.98742]; 1998. 9. 9, タイアザミー茎の先端, [no.98913];  
1998. 11. 29, タイアザミー茎の先端や葉裏, 有性世代を含む, [no.98x45]; 1999. 4. 21, アザミ属の1種－葉裏, 幹母?, [no.99417]; 1999. 5. 12, アザミ属の1種－葉, [no.99507]

#### Drepanosiphinae マダラアブラムシ亜科

32. *Chaitophorus saliniger* Shinji ヤナギクロケアブラムシ  
1999. 9. 5, ヤナギ属の1種－葉裏, [no.99913]
33. *Periphyllus californiensis* (Shinji) モミジニタイケアブラムシ  
1999. 4. 21, イロハモミジ－葉裏, [no.99408(1)]; 2000. 4. 9, Acer sp.－新梢, [no.00403]
34. *Shivaphis celti* Das エノキワタアブラムシ  
1998. 7. 31, エノキ－葉裏, [no.98746]; 1998. 10. 28, エノキ－葉裏, 有性世代を含む, [no.98048]; 1998. 11. 29, エノキ－葉裏, 卵生雌虫を含む, [no.98x52]
35. *Symydobius alniarius* (Matsumura) ハンノキブチアブラムシ  
1999.5.12, ハンノキ－小枝, [no.99516]
36. *Takecallis taiwanus* (Takahashi) タイワンヒゲマダラアブラムシ  
1998. 7. 31, タケ亜科の一種－葉身, [no.98738]
37. *Yamatocallis tokyoensis* (Takahashi) トウキョウカマガタアブラムシ  
1999. 4. 21, イロハモミジ－小枝, [no.99408(2)]

#### Greenideinae ケクダアブラムシ亜科

38. *Eutrichosiphum sinense* Ray Chaudhuri シイケクダアブラムシ  
1998. 7. 31, スダジイ－新梢, [no.98743]; 1998. 9. 9, スダジイ－小枝の先端, [no.98919];  
1999. 9. 5, スダジイ－新梢, [no.99916]

## Hormaphidinae ヒラタアブラムシ亜科

39. *Aleurodaphis blumeae* van der Goot ヤブタバココナジラミモドキ  
1998. 9. 9, ヤブタバコ茎の先端, [no.98916]; 1998. 10. 28, ヤブタバコ茎の先端や葉裏,  
[no.98047]; 1998. 11. 29, ヤブタバコ茎の先端や葉裏, [no.98x46]; 1999. 9. 5, ヤブタバコ  
葉裏, [no.99914]; 2000. 4. 19, ヤブタバコ葉裏, [no.00411]
40. *Nipponaphis litseae* Takahashi シロダモムネアブラムシ  
1998. 9. 9, シロダモ小枝, [no.98917]
41. *Pseudoregma panicola* (Takahashi) ヒエツノアブラムシ  
1998. 10. 28, ケチヂミザサ花穂, 兵隊型幼虫を含む, [no.98049]; 1998. 11. 29, ケチヂミザ  
サ花穂付近, 兵隊型幼虫を含む, [no.98x56]

## Thelaxinae ムレアブラムシ亜科

42. *Kurisakia querciphila* Takahashi クヌギミツアブラムシ  
1999. 5. 12, コナラ葉裏, [no.99505]

## Pemphigidae タマワタムシ科

## Pemphiginae タマワタムシ亜科

43. *Prociphilus oriens* Mordvilko トドノネオオワタムシ  
2000. 4. 19, イボタノキ小枝, 幹母, [no.00416]
44. *Prociphilus bumelinae* Schrank オオハマキワタムシ  
1999. 4. 21, ネズミモチ葉裏, 葉が緩く巻く, [no.99406]; 1999. 5. 12, ネズミモチ葉裏,  
葉が緩く巻く, [no.99504 (1)(2)]

## 4. 寄主植物目録

自然教育園で確認できたアブラムシの寄主植物は全部で55種であった。以下の目録には、寄主植物の和名（五十音順）と学名，ならびにそれらの植物に寄生していたアブラムシの学名と和名を示す。

アオミズ *Pilea mongolica* Weddell

*Myzus fataunae* クワクサコブアブラムシ

アキノノゲシ *Lactuca indica* Linn. var. *laciniata* Hara

*Uroleucon formosanum* タイワンヒゲナガアブラムシ

アケビ *Akebia quinata* Decaisne

*Sitobion akebiae* ムギヒゲナガアブラムシ

アザミ属の一種 *Cirsium* sp.

*Capitophorus cirsiiaphagus* アザミクギケアブラムシ

*Uroleucon cephalonopli* アザミクロヒゲナガアブラムシ

アズマネザサ *Pleiblastus chino* Makino

*Melanaphis bambusae* タケノアブラムシ

アブラガヤ *Scirpus wichurae* Bocklr.

*Aphidini* の1種

アワコガネギク *Chrysanthemum boreale* Makino

*Aphidini* の1種

イヌザクラ *Prunus buergeriana* Miq.

*Macrosiphini* の1種

イボタノキ *Ligustrum obtusifolium* Sieb. et Zucc.

*Prociphilus oriens* トドノネオオワタムシ

イロハモミジ *Acer palmatum* Thunb.

*Periphyllus californiensis* モミジニタイケアブラムシ

*Yamatocallis tokyoensis* トウキョウカマガタアブラムシ

ウツギ *Deutzia crenata* Sieb. et Zucc.

*Rhopalosiphoninus hydrangeae* サビタトックリアブラムシ

エゴノキ *Styrax japonicus* Sieb. et Zucc.

*Toxoptera citricida* ミカンクロアブラムシ

エノキ *Celtis sinensis* Pers. var. *japonica* Nakai

*Shivaphis celti* エノキワタアブラムシ

*Stomaphis yanonis* ヤノクチナガオアブラムシ

オオアブラススキ *Spodiopogon sibiricus* Trin.

*Sitobion yasumatsui* アブラススキヒゲナガアブラムシ

カエデ属の一種 *Acer* sp.

*Periphyllus californiensis* モミジニタイケアブラムシ

カマツカ *Pourthiaea villosa* Decne. var. *laevis* Stapf

*Melanaphis bambusae* タケノアブラムシ

キツネノマゴ *Justica procumbens* Linn. var. *leucantha* Honda

*Aphidini* の1種

クスノキ *Cinnamomum camphora* Sieb.

*Sinomegoura citricola* クスオナガアブラムシ

クロマツ *Pinus thunbergii* Parlat.

*Eulachnus thunbergii* マツノホソオオアブラムシ

ケチヂミザサ *Oplismenus undulatifolium* Roem. et Schult.

*Pseudoregma panicola* ヒエツノアブラムシ

コナラ *Quercus serrata* Thunb.

*Kurisakia querciphila* クヌギミツアブラムシ

コマユミ *Euonymus alatus* Sieb. var. *apterus* Regel f. *ciliatodentatus* Hiyama

*Aphidini* の1種

コメナモミ *Siegesbeckia glabrescens* Makino

- Myzus siegesbeckicola* メナモミコブアブラムシ  
 ゴンズイ *Euscaphis japonica* Kanitz  
*Indomegoura nigrotibiae* ミツバウツギフクレアブラムシ  
 サルトリイバラ *Smilax china* Linn.  
*Aleurosiphon smilacifoliae* サルトリイバラアブラムシ  
*Impatiens impatiens* ホウセンカヒゲナガアブラムシ  
 サワヒヨドリ *Eupatorium lindleyanum* DC.  
 Aphidini の 1 種  
 シラヤマギク *Aster scaber* Thunb.  
*Uroleucon fuchuense* シラヤマギクヒゲナガアブラムシ  
 シロダモ *Neolitsea sericae* Koidz.  
*Nipponaphis litseae* シロダモムネアブラムシ  
 スイカズラ *Lonicera japonica* Thunb.  
*Trichosiphonaphis lonicerae* スイカズラヒゲナガアブラムシ  
 ススキ *Miscanthus sinensis* Anderss.  
*Melanaphis jamatonica* ヤマトススキアブラムシ  
*Melanaphis formosanus* タイワンススキアブラムシ  
 スダジイ *Castanopsis cuspidate* Schottky var. *sieboldii* Nakai  
*Eutrichosiphum sinense* シイケクダアブラムシ  
 タイアザミ *Cirsium nipponicum* Makino var. *incomptum* Kitam.  
*Uroleucon cephalonopli* アザミクロヒゲナガアブラムシ  
 タケ亜科の一種  
*Takecallis taiwanus* タイワンヒゲマダラアブラムシ  
 ツリフネソウ *Impatiens textori* Miq.  
*Hydronaphis impatiens* ツリフネソウアブラムシ  
*Impatiens impatiens* ホウセンカヒゲナガアブラムシ  
 ニワトコ *Sambucus sieboldiana* Bl.  
*Aulacorthum magnoliae* ニワトコヒゲナガアブラムシ  
 スマトラノオ *Lysimachia fortunei* Maxim.  
 Aphidini の 1 種  
 ヌルデ *Rhus javanica* Linn.  
*Toxoptera odinae* ハゼアブラムシ  
 ネズミモチ *Ligustrum japonicum* Thunb.  
*Prociphilus bumeliae* オオハマキワタムシ  
 ノイバラ *Rosa multiflora* Thunb.  
*Sitobion ibarae* イバラヒゲナガアブラムシ  
*Sitobion kamtshaticum* アシボソセツヒゲナガアブラムシ  
 ノダケ *Angelica decursiva* Fr. et. Sav.

*Cavariella japonica* シラネセンキュウフタオアブラムシ

*Semiaphis heraclei* ハナウドチビクダアブラムシ

バラ属の一種 *Rosa* sp.

*Sitobion ibarae* イバラヒゲナガアブラムシ

*Sitobion kamtshaticum* アシボソセツヒゲナガアブラムシ

ハンノキ *Alnus japonica* Steud.

*Symydobiusalniarius* ハンノキブチアブラムシ

ヒトツバタゴ *Chionanthus retusus* Lindl. et Paxton

*Prociphilus* sp.

ヒメムカシヨモギ *Erigeron canadensis* Linn.

*Aphidini* の1種

フキ *Petasites japonicus* Maxim.

*Aphis* sp.

ママコノシリヌグイ *Polygonum senticosum* Fr. et. Sav.

*Trichosiphonaphis ishimikawae* イシミカワイボアブラムシ

マユミ *Euonymus sieboldianus* Bl.

*Aphidini* の1種

ミズ *Pilea hamaoi* Makino

*Myzus fataunae* クワクサコブアブラムシ

ミズキ *Cornus controversa* Hemsl.

*Aphidini* の1種

ミツバウツギ *Staphylea bumalda* DC.

*Indomegoura nigrotibiae* ミツバウツギフクレアブラムシ

ムラサキシキブ *Callicarpa japonica* Thunb.

*Aphis* sp. 1 ムラサキシキブアブラムシ

ヤナギ属の一種 *Salix* sp.

*Cavariella salicicola* ヤナギフタオアブラムシ

*Chaitophorus saliniger* ヤナギクロケアブラムシ

ヤブタバコ *Carpesium abrotanoides* Linn.

*Aleurodaphis blumeae* ヤブタバココナジラミモドキ

ヨシ *Phragmites australis* Trin.

*Hyalopterus pruni* モモコフキアブラムシ

ラショウモンカズラ *Meehaniania urticifolia* Makino

*Aphidini* の1種

## 5. 考 察

本調査では55種の植物に寄生していた2科7亜科44種のアブラムシを確認した。

注目種としては、まずミツバウツギフクレアブラムシがあげられる。動植物目録（1984）では教育園の種はゴンズイフクレアブラムシとされていたが、今回、ゴンズイの同一株から形態と生態的な見知から、ミツバウツギフクレアブラムシの第二世代の無翅虫と卵生雌虫であることが確認できた。ゴンズイフクレアブラムシとミツバウツギフクレアブラムシは形態的に酷似しており、平良（1982）の知見に従って判断した。コメナモミから確認できたメナモミコブアブラムシは、奄美大島で5月上旬にメナモミから採集された記録があるのみで、本土では初記録である。

次に教育園の環境とアブラムシ相の関係を検討してみたい。教育園を調査して特に目立つのは、常緑樹による遷移が進み特定の植物が優先し、林床のみならず林縁部も日陰の部分が多いことである。武蔵野植物教材園と水生植物教材園以外の区域では半日陰や日陰の場所が多く、アブラムシのコロニーを確認することはまれであった。同じ都内の緑地帯である皇居ではどうだろうか。松本（2000）によれば、皇居では、95種の寄生植物に96種のアブラムシが確認されている。吹上御苑には、湿地的な要素や路傍的な要素、雑木林的な要素がある程度の広がりを持ってモザイク状に残っていて、定期的に「下草刈り」が実施されている。一方、教育園にも湿地的な要素や路傍的な要素、雑木林的な要素がある程度の広がりを持ってモザイク状に残っている。その違いは国の特別地域に指定されているため、「下草刈り」が実施されず遷移が進み過ぎていることにある。アブラムシは一般的に寄主特異性が高く、寄生部位が幼植物の茎や葉、シュートを利用している。そのため成長にみあうだけの明るさが必要である。人為的な保全がされないことが、この地域のアブラムシ相の種類数を減少させているのかもしれない。

## 引 用 文 献

- Blackman, R. L., & V. F. Eastop. 1994. *Aphid on the Worlds Trees*. 1004pp. CAB International, Wallingford, UK.
- Blackman, R. L., & V. F. Eastop. 2000. *Aphid on the Worlds Crops*. 2nd Edit., 466pp, Wiley, Chichester.
- Higuchi, H. 1974. A New Species of *Yamatocallis* Matsumura, 1917 (Hom., Aphid.), with a Key to the Species of the Genus. *Kontyu*, Tokyo, 42(3): 227-231.
- 国立科学博物館附属自然教育園 動植物目録. 1984. 118pp.
- 松本嘉幸. 2000. 皇居のアブラムシ. *国立科博専報*, (36): 83-98.
- 宮脇昭・奥田重俊・藤原睦夫(編). 1994. 改訂新版日本植生便覧. 910pp. 至文堂, 東京.
- Miyazaki, M. 1971. A revision of the tribe Macrosiphini of Japan (Homoptera: Aphididae, Aphidinae). *Insecta matsum.*, 34: 1-247.
- 森津孫四郎. 1983. 日本原色アブラムシ図鑑. 545pp. 全国農村教育協会, 東京.
- Remaudiere, G., & M. Remaudiere. 1997. *Catalogue of the Worlds Aphididae*, 473pp. INRA, Paris.
- 宗林正人. 1975a. 樹木に寄生するアブラムシ(1). *森林防疫*, 24: 154-157.
- 宗林正人. 1975b. 樹木に寄生するアブラムシ(2). *森林防疫*, 24: 218-224.

- 宗林正人. 1975c. 樹木に寄生するアブラムシ(3). 森林防疫, 4: 235-240.
- 宗林正人. 1976a. 樹木に寄生するアブラムシ(4). 森林防疫, 25: 16-23.
- 宗林正人. 1976b. 樹木に寄生するアブラムシ(5). 森林防疫, 25: 46-51.
- 宗林正人. 1977a. 樹木に寄生するアブラムシ(6). 森林防疫, 26: 4-13.
- 宗林正人. 1977b. 樹木に寄生するアブラムシ(7). 森林防疫, 26: 51-58.
- 宗林正人. 1977c. 樹木に寄生するアブラムシ(8). 森林防疫, 26: 102-107.
- 宗林正人. 1977d. 樹木に寄生するアブラムシ(9). 森林防疫, 26: 152-157.
- 宗林正人. 1978a. 樹木に寄生するアブラムシ(10). 森林防疫, 27: 90-95.
- 宗林正人. 1978b. 樹木に寄生するアブラムシ(11). 森林防疫, 27: 183-191.
- Sorin, M. 1970. Longiunguis of Japan. Insecta matsum., Suppl., 8: 5-17.
- 平良 孝. 1982. フクレアブラ属 (*Indomegoura* H. R. L.) 2種 (*I. indica* と *I. nigrotibiae*) の形態及び生活史の比較検討. 宇都宮大学農学部農学科応用昆虫学研究室, 卒業論文.